

笑顔（スマイル）

片平中学校 第3学年

文責 河野 恵子

令和3年4月6日

進級おめでとうございます



着任式、始業式、入学式がありました。

4月6日（金）に着任式、始業式、入学式がありました。本年度、子どもたちは3年生、最高学年になります。本当に月日の経つのは、早いものですね。そして、本年度は子どもたちにとって、大きな試練が待ち受けています。受験です。その目標達成のためには、様々な試練があると思います。しかし、それぞれの目標達成のために、私たちも一緒に努力していきたいと思います。今後の子どもたちの活躍に期待しています。



学年の先生が決まりました。

3学年 主任 佐藤 弘四郎（担当 保健体育）
明るく、行動力のある新3年生と共に学べること、うれしく思います。
精一杯生徒の進路実現にむけ努めます。

3年1組担任 河野 恵子（担当 英語）
昨年同様、今年度もよろしくお願いします。



担任のひとりごと・・・

福島県立医大病院のある先生の話から・・・

「変化がない」というのは一見、平凡なもの、あるいはつまらないもの、退屈なものという印象がありますが、医師となって20年以上たってみると、実は「変化がないこと」、淡々と日々が過ぎて行くことこそが重要であることを身に染みてわかるようになりました。仕事の中で、淡々と何のトラブルもなく変わらずになされていたことが、ある人がいなくなって初めて仕事が淡々といなくなり、その仕事を片付けてくれる人がいなくなることで、その人の存在の重要性に初めて気が付くのです。

医療や研究に限らず一般には、「変わらない」という一見平凡な事柄が実は最も重要で、「変化のないこと」が患者さんや周囲の人に平穏な気持ちを持たせてくれるのです。当然ながら「変わらないこと」というのは、何もしていないということを意味しているわけではありません。「変わらないこと」を維持するためには、そのために多くの動きや努力があって、初めて「変わらないこと」が実現、維持されるのです。そう思って周囲を見渡して下さい。当直日誌の検閲が時々抜け落ちたり、時々遅刻をしたり、毎日やらなければならない仕事を何等かの理由である日だけやらなかったり、手術場のモニターをONにすることを時々忘れていたりといったことは、1つ1つ取るとたいしたことではないことのように思えますが、それは変化であって、その変化は往々にして人の心に動揺をもたらします。そして、それが相互不信感につながるのです。日々まったく変わらないことを目指し、淡々と日々が過ぎて行くように努力すべきではないでしょうか。

と、というような話です。3年生にとって、本年度は「変わらないこと」を維持していくことが大切になってくるのかもしれませんが。しっかりと地に足をつけたところから、目標実現に向かってほしいと思います。

○ 今後の予定と連絡

8日（木）新入生歓迎会	13日（火）交通安全教室	21日（水）内科検診
9日（金）身体測定	部活動結成	22日（木）全校集会
奉仕委員会結成	尿検査	26日（月）避難訓練
特別委員会結成	15日（木）修学旅行	27日（火）眼科検診
	16日（金）修学旅行	28日（水）授業参観・PTA総会